

商業科（情報処理）学習指導案

単元	第1節 ビジネスと統計	教科書	最新情報処理（実教出版）	
指導目標	1 表計算ソフトウェアを活用し、さまざまなビジネスの情報を管理、分析し、用務に役立つ合理化についての知識、技術を身に付けさせる。 2 統計の基礎を学習し、目的にあった計算方法で最適な解を導き出す手法を理解させる。	指導計画	1 表計算ソフトウェアの活用例・・・2時間 2 統計の基礎・・・・・・・・・・・・・・4時間 (本時はその3時間目)	
本時の目標	主 題	統計の基礎		
	本時の目標	1 データを代表値で表すことができるようにさせる。 2 データを代表値で表し、データの傾向を説明できるようにさせる。		
本時の展開	課 題	教科書(pp. 112～113)を読んでおく。		
	学 習 活 動	時間	留意事項など(ALの視点を含む) 評価基準・方法、資料等	
本時の展開	導 入	1 本時の目標を確認する。	5 ・統計調査の優位性を確認する。	
	展 開	1 資料の整理について学習する。	5 ・調査方法として全数調査と標本調査があることを理解させる。	【評価基準】 A データを代表値で表すことができ、その数値を正しく読み取ることができる。 B データを代表値で表すことができるが、その数値を正しく読み取れていない。 C データを代表値で表すことができない。 【評価方法】 ○ワークシート
		2 代表値について学習する。	10 ・代表値はデータの特徴や傾向を示す数値であることを理解させる。 ・代表値には平均値、中央値、最頻値があることを理解させる。 ・代表値の中でも、平均値は外れ値による影響を強く受けることに留意させる。	
過 程	3 様々なデータの統計調査 (1) データを代表値で表す (2) データの特徴や傾向の説明 (3) 発表	25 ・データによっては、最頻値が算出されなかったり、複数個算出されることを留意させる。 ・一つの代表値のみでは、データの特徴を適切に示すものとはならないことを留意させる。 ・表計算ソフトウェアの関数を活用し、代表値などの算出を学習することで、今後の統計学習につながることに気付かせる。	【評価基準】 A データの特徴や傾向を説明でき、代表値の特性も理解している。 B データの特徴や傾向を説明できる。 C データの特徴や傾向を説明できていない。 【評価方法】 ○机間観察 ○発表内容	
整 理	1 本時のまとめをする。 2 次時の予告を行う。	5 ・本時の学習が十分に理解できたか確認させる。	・ワークシート	
備 考	商業科・情報ビジネス科(I型) 生徒数 36名			

それぞれの代表値における使い分けにはどのような場面があるか。